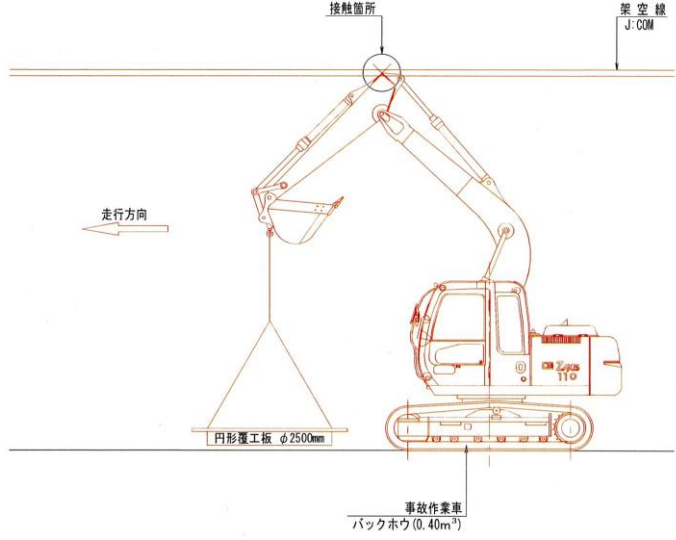


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和5年7月27日(木曜日) 16時25分			工事関係者区分	元請け
事故区分	空線・信号等損	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	JCOM架空線の損傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	クレーン機能付バックホウ(0.4m ³)にて覆板を吊り上げて運搬中に、アームが架空線(JCOM通信線)に接触しこれを損傷させた案件である。						
事故原因	バックホウ運転者の上空などへの注意不足と、合図者とバックホウ運転者の意思疎通が不十分であった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・KY活動の際に、作業機械が移動等する箇所にある架空線等の位置を関係者全員で現地確認の実施。 ・支障することが予想される架空線の位置に、種類・高さ等を記した小型標示板を該当架空線直下に設置。 ・機械の作業合図を再確認し、合図者にホイッスルを携帯させ、緊急時にホイッスルが鳴ったら、全作業停止のルールを周知徹底。 						

事故状況図



改善状況図

現地での再発防止会議開催状況

